

# 植物生産土壌学 (土壌作物栄養学) 10 回目

教員名：筒木 潔

講義のホームページ：<http://timetraveler.html.xdomain.jp/>

## 10 回目の講義の内容 「草地の土壌」

この講義では、自然生態系の中での草地および畜産の基盤としての草地における物質循環と土壌の特徴について学びます。

- 1) 草地の土壌 (タイトルページ)
- 2) 森林と草地 一次生産と呼吸のバランス
- 3) 自然草地の成立要件
- 4) 気温・降水量と植生帯の関係
- 5) 世界の草地
- 6) 世界の主要土壌
- 7) わが国の草地
- 8) 日本の耕地面積の変化 (棒グラフ)
- 9) 日本の耕地面積の変化 (折線グラフ)
- 10) 草地開発事業発展の経緯
- 11) 平成 21 年度耕地面積統計
- 12) 日本の草地植生帯
- 13) 帯広畜産大学内の黒ボク土断面
- 14) 灰色台地土の草地土壌断面
- 15) 日本における草地の立地
- 16) 草地の造成
- 17) 耕起造成法
- 18) 草地の分布
- 19) 草地土壌の特性
- 20) ルートマットの形成
- 21) 表層土壌での養分集積
- 22) 草地土壌の酸性化
- 23) 草地の施肥管理
- 24) 草種と施肥の関係
- 25) 過剰施肥の害

- 26) 牧草の栄養バランスの管理
- 27) 放牧草地におけるシバムギと他種牧草の無機成分の比較
- 28) マメ科割合と養分バランス
- 29) 造成後経過年数と土壌分析値
- 30) 草地の更新
- 31) 草地更新の方法
- 32) 草地の養分循環
- 33) 陸上の炭素の貯蔵量とフラックス
- 34) 草地土壌における炭素循環
- 35) 酪農経営における窒素の流れ（北海道、農耕地 1 ha 当り）
- 36) 酪農経営における窒素の流れ（都府県、農耕地 1 ha 当り）
- 37) 酪農経営における窒素の流れ（北海道と都府県、農耕地 1 ha 当り）
- 38) 牛舎周辺の地下水の硝酸態窒素濃度
- 39) 土壌と動植物体内における硝酸イオンの動態
- 40) 環境への窒素の流入元
- 41) 畜産業からの窒素流出
- 42) 日本農耕地における窒素の流れ

植物生産土壌学（土壌作物栄養学）10回目 レポート

学籍番号：

氏名：

酪農からの環境負荷を低減するために草地土壌はどのように重要なのか述べなさい。また、草地土壌の生産性を維持するために必要なことを述べなさい。

感想・質問等。

植物生産土壌学（土壌作物栄養学）10回目 レポート

学籍番号：

氏名：

酪農からの環境負荷を低減するために草地土壌はどのように重要なのか述べなさい。また、草地土壌の生産性を維持するために必要なことを述べなさい。

感想・質問等。